

北海道学び推進月間の取組

オホーツク教育局
令和元年12月6日

北海道教育委員会では、毎年4月と11月を「北海道学び推進月間」と定め、学力向上のための各種事業に重点的に取り組むとともに、家庭学習や読書などを奨励する広報啓発活動を通して、家庭や地域における学びの取組を一層推進することにより、「確かな学力」の向上を目指しています。

春と秋の「北海道学び推進月間」では、学校や家庭、地域において様々な取組が行われました。特色ある取組を紹介しますので、今後の取組の充実を図るため参考として御活用いただければと思います。

○ 北海道春の学び推進月間の取組

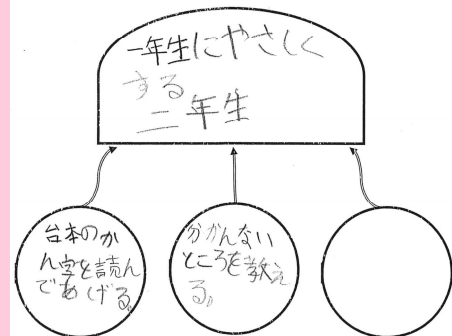
「キャリア・パスポート」による学習や生活の見通しと振り返り

興部町立沙留小学校では、今年度、児童が学ぶことと将来とのつながりを見通し、社会的・職業的の自立に向けて必要な資質・能力を身に付けることをねらいとして「キャリア・パスポート」の活用に取り組んでいます。

4月には、児童一人一人がこれまでの学習や生活を振り返りつつ、これからの自分の在り方を思い描き、「得意なこと・長所」「将来の夢」などを記入しました。

4月以降も、学校行事や児童会活動、地域における活動等について、目標や取組の状況、成長したことなどを「キャリア・パスポート」に記録・蓄積していき、学校、家庭、地域で学んだことを振り返りながら、新たな学習や生活の意欲につなげています。

② 学芸会が おわったら どんな自分になりたい？
クラグの 頭に 書こう。



③ そのためには、どんなことをしたら いいかな？
くわしく 考えて、クラグの 足に 書こう。

【キャリア・パスポートの一部】

○ 北海道秋の学び推進月間の取組

高等学校の道徳教育をテーマとした公開研究会の開催

紋別高校では、今年度、「北海道高等学校「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」」の道東圏域における推進校として全校で道徳教育に取り組んでいます。11月28日に実施された公開研究会では、管外から8名、管内から25名の先生が参加し、生徒が人間としての在り方生き方を考える研究授業を行いました。



【公開授業の様子】

また、研究協議では、高等学校の道徳教育の改善・充実に

ついて意見が交換され、参加者から、「本校が作成した道徳教育を柱とした単元配列表が参考になった。」「養護教諭がHRで多様な性について生徒に考えさせる授業は大変参考になった。」などの声が寄せられるなど、学校の教育活動全体で行う道徳教育の実戦に向けた具体的な取組が明らかになりました。

今後も本研究を充実させ、生徒対象のアンケート等により、取組の成果を把握するとともに、研究成果を広く発信し、高等学校の道徳教育の改善・充実に貢献したいと考えています。

「北海道学び推進月間」標語

☆最優秀作品（最優秀賞）☆ 北海道津別高等学校2年 井上 颯斗 さん

「学習は 未来へつなぐ 夢の橋」

☆☆優秀作品（奨励賞）☆☆ 北見市若松小学校 6年 藤原 溪太 さん

「TRYして 自分のかべを 乗りこえろ」

北見市立光西中学校1年 森 實 仁衣奈 さん

「積みあげよう 知識と努力の ピラミッド」

北海道津別高等学校2年 折手 碧 さん

「勉強は 未来のための 登り坂」

今年度もたくさんの作品を応募いただきありがとうございました。